



すぎなみ

教育報

第171号
 平成15年12月10日
 発行 杉並区教育委員会
 杉並区阿佐谷南1-15-1
 ☎ 3312-2111 FAX 5307-0692
 教育委員会ホームページ
<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>
 区公式ホームページ
<http://www.city.suginami.tokyo.jp/>

世界にはばだけ杉並の子どもたち

Suginami英語活動 最前線

新教育課程がスタートして早1年、各学校では様々な特色ある教育活動を行っています。その中でも「総合的な学習の時間」において“英語活動”を始める小学校も現れました。地域の方々を巻き込みながら、創意工夫を発揮して取り組んでいる英語活動の最前線をご紹介します。

Hello !

高井戸第三小学校の現場から



「どこの国でも自分の考えを表現できる子になって欲しい。」大石校長の願いを受けて、同校の学校教育コーディネーターが奔走。指導案を作れる地域の協力者を見つけ出し、今年度は2ヶ月に1度全学年、各クラス単位に行う英語活動が実現しました。

この日のテーマは、「方向」。アンディ先生の“forward!, right!”という合図に合わせて、体を動かし緊張をほぐします。そして次は、「ふくわらいゲーム」。先ほど学んだ方向を示す言葉を使って、目隠しした友達を助けます。うまく教えてあげないと…。

大人気のふくわらいゲーム



5年生に読み聞かせ 集中、集中 (『A House for Hermit Crab』)



最後は、英語の本で読み聞かせ。驚いたことに、みんなきちんと座り集中して聞き入っています。これは同校が力を入れている読書活動の成果だとか。日本語でも、英語でも子どもたちは本が大好き。でも難しくない? 「今日習った言葉がでてくるからなんとなく分かる。」と元気に答えてくれました。

学校の特色と結びついた英語活動は、今後もますます発展しそうです。

杉並の英語活動

杉並区立小学校(44校)の中で国際理解教育に取り組んでいる小学校は38校(平成15年9月現在)あります。この内の12校が英会話等の英語活動を実施しており、8校が外部の方々の協力を得ています。

一方中学校では、おおむね週3日英語科の授業があります。この中で、1クラスあたり年間約17時間、英語を母語とする外国人が指導を補助しています。これは「外国人英語教育指導員(NEA)」と呼ばれ、生徒のコミュ

ニケーション能力の向上や異文化理解を深める役割を担います。また、リスニングテープなどの音声教材の作成にも携わっています。(関連記事 3面「わたしたちの先生自慢!」)

各学校・クラス状況に応じて時間数は異なります。



図書館年末閉館のお知らせ

区立図書館は今年度から、12月30日まで年末閉館を行います。本年の開館時間は、12月28(日)、29(月)、30(火)、午前9時から午後5時までです。なお、年明けは1月6日(火)から平常どおりの開館となります。 問い合わせ先: 中央図書館 ☎ 3391-5754

「東京の教育に関する都民意識調査」(平成15年6月東京都教育庁)では、これからの学校教育に力を入れていくべき分野として「外国語教育や国際理解に関する教育」が50.8%、1位(大人回答)となっています。期待の大きい英語活動に挑む、教員、地域の人々の動きを追いきました。

先生は大学生

田中麗奈さんは、聖心女子大学の2年生、桃井第一小学校の英語活動を補助する学生ボランティアです。アメリカで幼少時代を過ごした彼女は、ほとんどネイティブ。そんな田中さんが心がけるのは、英語自体を教えることよりも、世界から見た日本や海外の文化など国際理解を中心にする事です。

今日の授業は、「ハロウィン」がテーマ。この行事の由来や本場の体験談を語りかけ、子どもたちを引き込みます。また、お手製のオバケカードを使ったゲームを取り入れ、クラスみんなが英語に慣れ親しむ工夫をしています。

英語を通じて変わること

「おとなしかった子がね、英語に興味を持ったことでどんどん積極的になったんですよ。」と笑顔で話す田中さんは教員を志望。目標は、子どもたち自身が気づいていない良い所を引き出す先生になることです。「レイナ先生~!」子どもたちは、授業が終わってもなかなか離れようとしません。どうやら英語だけでなく、何か大切なものを子どもたちに残しているようです。

学生ボランティア募集中!

...問い合わせは社会教育スポーツ課へ



「子どもたちからパワーをもらっています」と田中さん。

英語活動チャ

小・中合同の英語活動

先生も勉強中

先生たちも頑張っています。中学校の英語科教員、NEA、小学校の先生が井荻小学校で合同授業を行いました。英語科では初の試みで、小中連携授業の端緒となる画期的な出来事です。

“Are you ready?” “Yeah!” 元気一杯の4年生を楽しい英語活動に誘うのは、紛れもなく中学校の先生。ダンスで体を動かしたと思うと、カードやパペット(指人形)などの小道具が飛び出し、子どもたちを夢中にさせます。

子どもたちの楽しそうな姿とは裏腹に、研究授業を参観する先生の目は真剣そのもの。子どもの注意の引き方、NEAとの授業の進め方など、熱心にメモを走らせます。

小中の垣根を越えて

「子どもの耳は柔らかく飲み込みが早いですね。」中学校の先生に小中合同の抵抗感を感じられません。

一方、子どもたちの反応は、「また来てもいいかな?」神明中の石川先生が尋ねると、子どもたちは「Okay! Okay! Okay!」と大喜びでした。




小・中学校の先生が苦勞を乗り越えて実現した授業(写真左側2人目、神明中・石川先生)

すぎなみコミュニティカレッジ

あなたの英語力、海外経験を子どもたちのために生かしてみませんか?

小中学校の英語活動や国際理解教育を支えるボランティアを養成する講座です。英語のアクティビティや外国人とのワークショップ、実習などを通じて、子どもたちが外国語や異文化を楽しく学習するためのノウハウを学びます。学んだことを実践につなげたい方、お待ちしております。

日時・内容・講師は表のとおり
 場所 セシオン杉並ほか区立学校(実習)
 対象 区内在住・在勤・在学で児童英語教育に関心のある方
 定員 35名(応募多数の場合 抽選)
 費用 1,000円
 申込方法 往復ハガキに 講座名、住所、氏名(フリガナ)、年齢、性別、電話番号、応募動機(もしあれば海外経験などのエピソード)をお書きの上、12月23日(必着)までに社会教育センター(〒166-0011 梅里1-22-32)へ
 問い合わせ 同センター ☎3317-6621

日時	内容	講師
1月14日 午後2時~4時	How to 英語活動 学年別アクティビティの指導 ~「数」をいかに楽しく教えるか~	ECCジュニア教育研究所トレーナー 永森裕美子
1月21日 午後2時~4時	How to 英語活動 学年別アクティビティの指導 ~「曜日」をいかに楽しく教えるか~	1/14~2/4の講座はECCジュニア の特別協賛で行われます。
1月28日 午後2時~4時	How to 英語活動 歌・チャンツの指導 ~楽しくリズムにのってレッスンを工夫~	すくすくと未来へ  ECCジュニア
2月4日 午後2時~4時	How to 英語活動 レッスンプランの作り方 ~ティームティーチングと万能ゲーム~	
2月18日 午後2時~4時	現役インターナショナル・スクール 教諭による国際理解の基礎講座	セント・メリーズ・インターナショナル・スクール オンライン教諭 杉並ユネスコ協会 板倉 徳枝
2月19日 午後1時~5時	地域外国人を交えたワークショップ	
2月下旬 時間は実習 先によります	実習(区立小・中学校)	
3月3日 午後2時~4時	講座の振り返り 学校支援活動のための注意事項	杉並ユネスコ協会 板倉 徳枝 杉並区学校教育コーディネーター 生重 幸恵

内容等は予告なく変更する場合があります。

英語ボランティア養成講座 受講生大募集!

学校希望制度の申請結果がまとまりました 今年度の学校希望制度は、小学校535件、中学校666件の申請がありました。浜田山小学校と高井戸中学校は公開抽選、その他の学校は、希望申請どおりとなります。各学校への就学通知は、1月上旬に発送する予定です。学校希望制度の申請状況の詳細については、教育委員会のホームページ(トップページ 学校教育関係 学校希望制度)でご覧になれます。問い合わせ先: 学務課

学校週5日制によって始まった土曜日学校。その中でも、地域ぐるみで英語活動を支える二校の土曜日学校に参加してみました。



ペロニカさん(チリ・写真中央)は、「日本の学校の雰囲気を経験できていい経験になります。」と嬉しい一言

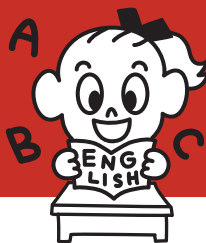
世界を知る インターナショナル土曜日学校

桃井第四小学校の土曜日学校は実にユニーク。「グローバルキッズ」は地域の外国人と子どもたちが、一緒に遊びながら世界の文化を勉強する講座です。

この日は、5カ国のゲストが登場。司会者が「お名前と、どこの国か当ててみよう!」と切り出すと子どもたちも真剣。スペイン語、フランス語、イタリア語、英語、スワヒリ語...それぞれのお国の言葉の自己紹介にじっと耳を傾けます。

英語の挨拶やゲームも行う一方で、主催者は「様々な言葉や文化に触れて、世界に視野を広げて欲しい。」と語っていました。

桃四小付近は、海外在住経験のある住民が多い地域とのこと。語学の堪能な保護者も多く、ユネスコ活動をしている若い卒業生と一緒にこの講座を支えています。地域の手で創るワールドスタディ、子どもたちの心の地図も広がることでしょう。



レンジ最前線

まちぐるみのハロウィンパーティ!

「ハピさた・ハロウィンは凄いらしい。」こんな噂を聞きつけ、いざ杉並第五小学校へ。校門を抜けると、直径60cmはあるJack-o-lantern(オバケカボチャ)がお出迎え。高まる期待を胸に体育館へ潜入すると、魔女や黒猫、オバケ、はたまた??など、思い思いの格好をした子どもたちが大集合。その数なんと110人。



さあ、出発!衣装も手作り

「カラオケモンスター」と自称する陽気なスコット先生がムードを盛り上げたところで、いよいよ出発。グループに分かれて「お菓子の家」をめざします。



にこやかに迎えてくれるお家の方に、「Trick or treat?Happy Halloween!」(お菓子をくれないとイタズラするよ)元気に挨拶をして、お目当てのお菓子をGet! 「地域を知る良いきっかけになりますね。」と、地図を片手に先導するお母さん。お菓子の家は22軒、引率に約20人の保護者が協力してくれました。

1時間以上のまち探検を終えた子どもの声は...「また来年もやりた~い!」

1・2年生は恐~い? お化け屋敷へ



地域も参加。いってらっしゃい!

わたしたちの先生自慢!

阿佐ヶ谷中学校 ドナルド・キャンベル先生
Mr.Donald Campbell

笑顔が結ぶコミュニケーション



“ハイテンション”先生

「Fight! Try!」教室中に大きな声が響き渡り、所狭しと駆け回る、その正体はNEAのキャンベル先生。

この日のポイントは「過去分詞」。先生オリジナルのカードを組み合わせ、過去分詞の入った短文を作ります。早く出来た班からポイントゲット。「キャンベル先生!できた。」あちこちの班から手が上がって、先生は大忙し。難しい文法でも教室から笑顔が絶えません。

授業で心がけていることを聞いてみました。「緊張をほぐして、繰り返し練習できるようにしてますよ。」英語上達の秘訣を尋ねると「英語で日記をつけるなんていいですね。自然と沢山の言葉を覚えます。」とのこと。継続は力なりです。

スマイル・スマイル・スマイル

「多くの世界を見て回りたい。」そう思ってカナダからやって来て早10数年。そろそろ他の国に行ってしまうのでは?「子どもたちのね、“smile”のお陰ですよ。」まだまだ日本を離れるつもりはないと聞いて一安心。生徒たちの笑顔が、先生の心を捉えて離さないようです。

「こころの探検講座」参加者募集!

思春期に自分自身をみつけれずにいる若者や「こころの問題」などに関心のある同世代の若者たちが、同じ空間で「こころ」について考える講座を開催します(1月21日~3月17日全8回)。広報すぎなみ12月21日号を参照の上、1月10日までに社会教育センターへお申し込みください。問い合わせ先:社会教育センター ☎3317-6621

教育委員からの発信



今年度の「教育委員からの発信」では、「学力向上」をテーマに五人の教育委員が紙面を通じて意見・情報等をみなさんに発信します。

まんが 万巻の書を読む

委員長職務代理者 大藏 雄之助

読書は少年少女期の影響が大きい。そのために杉並区でも幼児から本に親しむ習慣をつけるように「ブックスタート」運動を推進している。私の場合はそれが高じて活字中毒状態であり、本がそばにないと落ち着かない。三十年ぐらい前に家を新築する際に地下に専用の書庫を作り、移動式書庫を入れて現在約三万冊収納している。

私は二歳の半ばに股関節脱臼で半年以上大病院に入院していた。全治して日常生活には支障はなくなったが、今でも正座には耐えられない。小学校時代は足を使う運動は禁止で、体操の時間はいつも見学だった。放課後も悪童どもとチャンバラで駆け回ることはできないから、暇さえあれば自宅の本の虫になっていた。

六歳上の兄が買っていた立川文庫の少年講談は幼稚園のころ全部読んだ。戦前の本はほとんどにルビ(振り仮名)がついていたから、カタカナとひらがなを覚えれば、幼児でも読むことができたし、そのおかげで漢字を記憶したり、意味を理解したりしたのである。小学校の低学年で、家の本の本は、大人の小説を含めて、すべて読んでしまった。そこで仕方がないので、百科事典(確か三省堂の一冊本)を「ア」から順に「ワ」まで、少なくとも三回は読んだと思う。

ずっとのちに放送局に就職して物すごく忙しい生活が続いた。しかし、どんな時にも一日に一冊は読むように心がけた。いや、何か読まないといえる気になれなかったというほうが正確かもしれない。これを実行すれば、定年退職までのざっと三



十年間に一万冊の本を読破することができた。まさに万巻の書である。

もっとも、その言葉のできた時代の書物は木簡や竹簡だったから、その一巻は今の活字の本では百ページにも足りないに違いないが、とにかく一万冊の本を読み通すというのが私の目標だった。

軽い読み物から難解な学術書まで、最初の二十年はとにかく一日平均一冊のペースを守ることができた。ところがそのあたりから、私は書き手のほうに回ったために、そちらに大きく時間をとられることになった。さらに、遺暦前後になると読書スピードが落ち、またすぐに内容を忘れるので、途中で休むと、残念なことにはしばしば少し前に戻って読み直さなければならなくなった。

それでももう万巻は達成しているはずである。ただ、三万冊の蔵書からすれば、目を通していない本が相当あることも明らかである。もちろんその中には辞書・事典や統計集、新聞の縮尺版など執筆の必要に迫られて備えているものも少なくないが、完全引退後の晴読雨読を願って買い集めて「積ん読」になっているものだけでも千冊はくだらないだろう。これを片付けなければ死ぬわけにはいかない。今はかつて休ませた足を毎日万歩使って健康維持に努めている。

ご意見をお待ちしています

「教育委員からの発信」をお読みになった方からのご意見を募集いたします。ご意見は郵送、または区のホームページで受け付けます。

送付先 〒166 8570 杉並区阿佐谷南1 15 1

ホームページ <http://www.city.suginami.tokyo.jp/> (場所:生活ガイド 子供、教育 教育委員からの発信)

子どもの安全を守るために

教育委員会では、子どもたちが安心して学校に通い、学校生活を送れるよう、安全対策マニュアル、危機管理マニュアルの策定、訓練の実施、地域との連携を行うとともに、学校、PTA、教育委員会で構成する学校危機管理対策検討委員会において対応策の検討を進めております。

一方、区においては、危機管理室の設置、安全パトロール隊など、まちの安全を確保する取り組みが始められています。

こうした状況の中、最近、児童・生徒の安全を脅かす事件が連続したことから、区・教育委員会は、(1)防犯ブザーの貸与、(2)子ども「防犯テキスト」の配布、(3)「安全学習」の充実を決定いたしました。

今後とも、児童・生徒の安全安心を守る取り組みを進めて参ります。



教育委員会の動き

平成15年9月～11月

【教育委員会開催状況】

定例会	3回
臨時会	2回
議案	6件
陳情審査	1件
報告事項	14件

【主な案件】

- は審議・は報告事項
- 杉並区子ども読書活動推進計画
- 杉並区立図書館運営規則の一部を改正する規則
- 杉並区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 児童・生徒の安全確保についての緊急対策
- 教育改革アクションプラン(素案)
- 区立図書館の年末閉館について
- 杉並区立教育機関環境方針等について
- 新たな学校給食用個人盆の導入について
- 学校希望制度の申請結果

教育委員会ホームページ開設!

ここだけの、独自コンテンツ(内容)も充実

平成15年10月20日から教育委員会のホームページを開設しました。各種事業の紹介や学校希望制度の申請結果などの資料を見ることができます。

アドレスは.....

<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>

区のホームページからは.....

トップページ左側中段・特設コンテンツ「教育委員会」から入ることができます。

大藏委員が教育を語る、「21世紀にふさわしい学校を創る」を掲載しています。ぜひご覧ください。

場所: トップページ 教育委員会のしくみ 教育委員から

平成16年度 南伊豆健康学園入園児童募集

健康学園は、南伊豆の豊かな自然の中で、健康の回復と体力の増進を図りながら、区内の小学校と同じ内容の勉強をする全寮制の学園です。また、磯遊びや山登りなど、都会では得られない自然とかわる体験的な活動を取り入れています。

入園期間 平成16年4月から1年間
 入園対象 小学3～6年生で、肥満、ぜん息、偏食、虚弱の児童
 費用 月額約28,000円(食費・雑費)
 入園申込 平成16年2月4日(水)までに各小学校へ

平成16年1月24日(土) 25日(日)に現地見学会を行います。

問い合わせ先: 学務課就学奨励係



「杉並区子ども読書活動推進計画」を策定しました。この計画は、区内の18歳以下の方が本に親しみ、読書の楽しさ、素晴らしさを知ってもらえるよう、地域、家庭、学校における読書活動を推進するための各施策を掲げています。計画の本文は、教育委員会ホームページ、区ホームページでご覧になれるほか、区政資料室や図書館、区民事務所等で閲覧できます。問い合わせ先: 中央図書館、庶務課

